

こころのはな

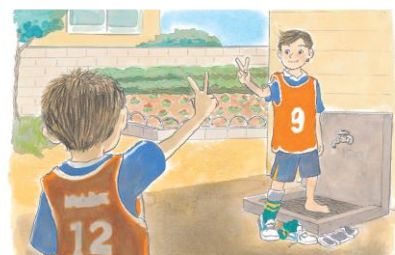
ゆうきの心配～親切・思いやり～



主人公のゆうきは、サッカーの練習中に、6年生のまことさんがぶつかった相手を気遣い、人に見られないようにけがの手当てをする様子を見かけます。ゆうきは一言励ましの言葉をかけ、その場から駆け出そうとします。そんなゆうきにまことさんが笑顔でVサインをし、自分の気持ちが通じたと感じたゆうきもVサインを返すお話です。

授業の最初に、「思いやりとは何か」について聞きました。辞書には「人の気持ちになって考えて行動すること・親切にすること」とあり、思いやりの気持ちとはどういうものなのかを、資料をもとに考えました。授業の終わりには、思いやりの気持ちで接した相手に自分の気持ちが通じ合うと、うれしい気持ちになるということをみんなで考えました。

自分のことが一番なのは当たり前ですが、一緒に学校生活を送っている友達の気持ちを考えて行動できているか、独りよがりの行為ではなく、相手の気持ちに寄り添って親切にできているかなど、日頃の自分の行動を振り返るよい機会となりました。



振り返りから

- ぼくが親切にする理由は、親切にしたら「ありがとう」と言われて、とてもうれしいし、またしたくなるからです。これからもたくさん親切にして仲良くしたいです。
- わたしは、人によって声をかけてほしいかどうか違うと思うので迷うけれど、一人だけ置いていかれたら悲しいと思うので、まずは声をかけてみようと思います。
- 思いやりの心をもつと、自分もみんなも笑顔になると分かったので、思いやりの心をもち続けたいです。そして、自分が親切にされたら、お返しをしてあげたいです。
- 相手の場合にもよるけれど、「大丈夫」の一言で、気がちょっとは楽になると思うから、これからは人の気持ちになって考えていきたいと思いました。
- 自分も助けられたらうれしいから、今度から相手が困っていたら、声をかけたり元気にさせてあげたりしたいと思いました。